

提出された議案を  
くわしく審査!

# 常任委員会報告 市役所本庁舎耐震工事実施

もっと知りたい  
ちっごの課題



## 総務文教委員会

委員会では、条例制定1件、補正予算1件、専決処分承認1件、意見書2件について審査し、全員賛成にて原案可決した。

**問** 本庁舎は、いつまで使用する計画か。  
**答** 今回の耐震改修工事により10年間は使用すると考えている。給水、電気設備の老朽化も進んでおり、補修箇所を把握し、今後修繕で対応していく。

### 本庁舎耐震工事へ

一般会計補正予算の庁舎管理に要する経費は、市役所本庁舎耐震改修工



耐震工事を待つ市役所本庁舎

### 小学校給食を 民間委託へ

**問** 水田コミュニティセンター集会所は、小学校再編により使用しなくなることも考えられるが、ここを耐震診断することの整合性は。  
**答** 防災拠点建築物であるため、法律に基づく報告義務があることから実施するもの。小学校再編計画とは区別している。なお、県へ防災拠点施設の変更を打診したが、計画変更はできないとの回答があった。

**問** 債務負担行為補正の内、学校給食事業（小学校）は、平成31年度から羽犬塚小学校の学校給食調理等業務を民間委託するもの。  
**答** 給食に対する評価は、校長や栄養教諭、教育委員会、企画調整課等による評価委員会にて毎年評価を行っている。

**問** 今後小学校給食の民間委託を進めるのか。  
**答** 全校委託を視野に入れているが、職員の退職や小学校再編も踏まえ検討する。

**問** 給食に対する評価は、校長や栄養教諭、教育委員会、企画調整課等による評価委員会にて毎年評価を行っている。  
**問** 今後小学校給食の民間委託を進めるのか。  
**答** 全校委託を視野に入れているが、職員の退職や小学校再編も踏まえ検討する。

## 厚生委員会

委員会では、条例改正6件、一般会計補正予算1件、財産の取得2件、規約の変更2件を審査し、全員賛成および賛成多数にて原案可決した。

### 国保税の負担比率は 慎重に検討を

国民健康保険条例改正については、地方税法施行令の改正に伴い、課税限度額、軽減措置に係る判定所得、マイナンバーに係る情報連携について改正を行うもの。

**問** 市の応益分（均等割・平等割）と応能分（所得割）の負担比率は「1対1・1」。国が示した「1対0・78」に近づけるべきでは。  
**答** 国が県の所得係数として定めている応能分が0・78。県はこの標準保険料率で算定している。市町村の標準保険料率についてはさらに医療費格差があるので、それを反映したのもとなつている。本市でも市民の負担軽減もあるので0・78に近づけていくよう慎重に考えたい。

### 待機児童解消へ前進

一般会計補正予算の民生費、児童福祉施設等助成金4億3201万円は、国の交付決定に伴い、認

**問** 認定こども園の施設整備関係予算を計上するもの。  
**答** 係予算を計上するもの。  
**問** 桜の実保育園は今年4月に、松原保育園は9月から増員予定。今回の和泉幼稚園の開所（来年4月）で、待機児童解消に区切りがつくのか。  
**答** 3園の開所・増築により、待機児童解消に期待できると考える。

**問** 市の事業費負担は。保育（負担1/12）と教育（負担1/4）部分を合わせて約8700万円となる。  
**答** 保育（負担1/12）と教育（負担1/4）部分を合わせて約8700万円となる。



今年度整備される認定こども園建設用地（和泉幼稚園）

## 建設経済委員会

委員会では、一般会計補正予算1件について審査し、全員賛成にて原案可決した。

### 復旧した 矢部川堤防を視察

審査終了後、平成24年7月の九州北部豪雨によって堤防が決壊し、このほど復旧工事が完了した柳川市大和町六合地区の視察を行った。  
この豪雨では、矢部川および沖端川沿いで約1800戸の家屋が浸水するなどの甚大な被害が発生。この5年間で緊急的に対策を実施する河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）が完了したものの、

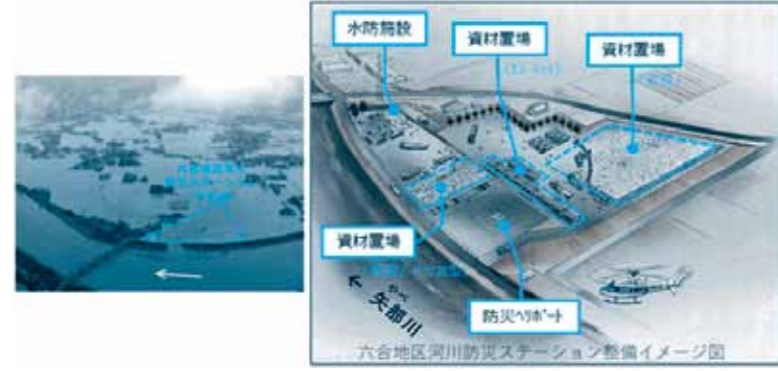
具体的整備内容としては、国土交通省が水防活動に必要な土砂や緊急復旧用のコンクリートブロックなどの資材の備蓄と搬出入、ヘリコプターの離着陸などに必要なスペースの確保を行い、柳川市が水防倉庫や水防団の待機場所などを整備。平常時には地域の防災訓練や防災学習の場として活用することを予定して

矢部川の対策（激特事業費約110億円）では、堤防の嵩上げ、拡幅および質的強化を集中的に実施。筑後市でも矢部川災害復旧工事が行われ、北長田および溝口地区の堤防強化が図られた。

**矢部川水系  
初となる河川防災  
ステーションを整備**  
洪水時等の緊急対応を迅速に行うための拠点となる六合地区河川防災ステーション（矢部川水系で初）を現在整備中。

### 矢部川六合地区 防災ステーション

矢部川水系では初となる河川防災ステーションを整備  
今後の気象変動により施設の能力を上回る洪水が発生し、堤防の決壊等による河川の氾濫が発生した場合でも被害の軽減を図るために、応急対策や氾濫水の排除、迅速な復旧・復興活動に必要な水防拠点として、河川防災ステーションの整備を行います。



矢部川六合地区河川防災ステーション資料(国土交通省)

いる。  
今後とも激しい集中豪雨が矢部川流域を襲うことが予想される。その際に  
激特事業の効果があらわれることを切に願ひ、現地を後にした。